

## 【活動テーマ】「学生とのコミュニケーションを進化させる」

### ➤ 活動方針

学生の学びを深めるために、教育現場では日々新しい取り組みやツールの利用が進んでいます。しかしながらどんなに素晴らしい取り組み・ツールも学生に伝わらなければ宝の持ち腐れとなってしまいます。

そこで教育システム分科会では、「学修者目線」への転換を目指し、各大学の先進的な取り組みを視察する機会を設けるとともに、特に学生とのコミュニケーションについて会員の皆様と共に大いに議論できたらと考えています。

### ➤ 活動概要

参加者の皆様のヒューマンネットワークの構築がスムーズに進むようアイスブレイクやワールド・カフェ形式の意見交換、そして実際の教育の現場をみていただける授業見学などを積極的に取り入れた分科会を開催できたらと考えています。

＜各回で内容は異なりますが、およそ以下の項目で構成＞

- ・講演、授業見学、意見交換、ワークショップ、アイスブレイク、参加体験型学習
- ・最新ソリューション紹介、見学会、情報交換会
- ・メーリングリストやFacebookを活用した積極的な情報交換

## ➤ 活動スケジュール

回	開催日	開催場所・開催内容等
1	6月頃	<p>【開催場所】：調整中 【開催テーマ】：「LMS」</p> <p>【開催概要】：多くの大学で既に導入されているLMS。各社様々な機能はありますが、利用方法は多種多様です。授業はもちろんのこと、授業時間外学習、コミュニケーション手段、双方向のクlicker、授業評価アンケート、ゼミ選考などに活用されています。LMS比較をしながら、再度、LMSの可能性を一緒に考えてみませんか。</p> <p>【参加してほしい方】：LMSを運用する部署に関わる教職員、大学全体の教育のあり方に興味のある方。 【参加により得られる価値】：最新のLMSの動向を知り、皆さんの大学に新しい利用方法、各種システムの特徴など持ち帰ることができます。</p>
2	9月から10月頃 (2日間)	<p>【開催場所】：調整中（関西地区を予定） 【開催テーマ】：1日目「コミュニケーションツール活用法」 (教育システム分科会・次世代情報システム検討分科会コラボ企画) 2日目「新しい学びの形」を実践している大学を視察予定</p> <p>【開催概要】：2日間の研修となります。1日は、最先端のコミュニケーションツールの利活用事例を紹介します。また、もう1日は新しい学びの形を実践している大学に伺い、取り組み事例等の紹介を予定しています。</p> <p>【参加してほしい方】：学生への情報伝達に困っている方、大事な情報を効果的に伝える方法にご興味のある方。 【参加により得られる価値】：学生と教職員とのコミュニケーションをとる次世代のツールや学生に十分に伝える方法が学べます。</p>
3	12月頃	<p>【開催場所】：調整中 【開催テーマ】：「学修成果の可視化」</p> <p>【開催概要】：教学マネジメント指針が示されて、「教育の質保証」が必須となります。優れた取り組みをされている大学の事例を伺いながら、「学修成果の可視化」や可視化のできるシステムを学びます。</p> <p>【参加してほしい方】：学修成果の可視化に興味のある方。検討をしている部署の方。 【参加により得られる価値】：学修成果の可視化の概念が理解でき、今何を大学としてまず取り組むべきか、解決の糸口が見つかります。</p>

上記の記載内容は変更となる場合がございます。